

狭山市史 近世資料編2 目次

第一章 中後期の市域の概況

1 宝永二年 川越藩所領高帳----- 10  
 2 明治九年 武蔵国郡村誌（入間郡・高麗郡）----- 18

第二章 町と村の展開

第一節 土地の動向----- 77

3 享保二十年二月 入間川村検地帳----- 77  
 4 安政五年九月 入間川村反別帳----- 80  
 5 享和二年 下広瀬村田畑屋敷名寄帳----- 83  
 6 文政三年三月 下奥富村田畑高反別年貢米永帳----- 93  
 7 宝暦二年三月 原地開発につき柏原村百姓願書----- 97  
 8 宝暦六年八月 原地開発につき柏原村百姓願書----- 99  
 9 享和三年二月 新田開発につき笹井村百姓願書----- 99

第二節 人別の動向----- 102

10 安政五年三月 北入曾村宗門人別帳----- 102  
 11 安政五年三月 北入曾村五人組帳----- 113  
 12 安政五年三月 北入曾村家数人別増減帳----- 114  
 13 安政五年二月 柏原村増減御改帳----- 116  
 14 安政六年二月 柏原村修験増減御改帳----- 119  
 15 元治二年三月 柏原村増減御改帳----- 120  
 16 明治二年四月 柏原村増減御改帳----- 124

第三節 年貢・諸役の動向----- 129

17 安永三年 北入曾村御年貢反別帳----- 129  
 18 安永八年～弘化二年 柏原村年貢割付書----- 136  
 19 安永三年十二月 北入曾村年貢皆済目録----- 154  
 20 文久二年～明治元年 下広瀬村年貢割付書----- 155  
 21 安永三年十一月 北入曾村石代金取立帳----- 162  
 22 安政六年三月 北入曾村村入用夫銭帳----- 164  
 23 正徳六年三月 年貢賦課につき南入曾村百姓願書----- 166  
 24 天保三年 普請高掛金につき柏原村他百姓請書----- 167

第三章 産業の発達

25 文政二年六月 茶取引につき江戸茶問屋一札----- 173  
 26 文政三年四月 狭山本場茶製連名帳----- 173  
 27 安政五年二月 製茶につき江川太郎左衛門触書----- 174  
 28 慶応三年 諸国茶産品書上----- 175  
 29 巳四月 茶問屋仲間につき江戸茶商人申入書----- 176  
 30 天保三年四月 重關狭山茶場碑記----- 177  
 31 安政二年八月 村野盛政墓誌銘----- 180  
 32 明治十三年二月 狭山茶由来につき吉川忠八書状----- 180  
 33 明治十六年 吉川家先祖書----- 181  
 34 明治十六年 吉川彦次郎の内国勸業博覧会製茶出品申告書----- 182  
 35 明治十六年 霜の花遺記----- 182  
 36 (年不詳) 狭山茶の由来 (村野勇吉父記) ----- 184  
 37 嘉永四年十一月 織物仲間議定連名帳----- 186  
 38 明治二十三年八月 水富村公業館繭品評会審査表----- 190  
 39 天保九年十一月 酒造高につき柏原村百姓請書----- 200  
 40 天保九年十二月 酒造高につき柏原村百姓請書----- 201  
 41 (年不詳) 酒造高につき柏原村百姓届書----- 202  
 42 (年不詳) 酒造高につき柏原村百姓届書----- 203  
 43 (年不詳) 酒造減高につき柏原村百姓請書----- 203  
 44 (年不詳) 酒造偽りにつき柏原村百姓詫状----- 204  
 45 (年不詳) 酒造偽りにつき柏原村百姓処罰申付書----- 205  
 46 (年不詳) 酒造冥加永受取証----- 205  
 47 安政二年三月 薩摩芋仕付につき堀兼村百姓議定----- 205  
 48 天保六年 新田に菜種仕付につき柏原村百姓願書----- 208  
 49 弘化三年三月 薪取につき根岸村百姓議定----- 209

第四章 商品経済の展開

50 寛永十六年十一月 所沢市場の祭文----- 215  
 51 明治四年八月 入間川市場再興につき議定書----- 215  
 52 明治三十四年十月 入間川市場再興の表彰状----- 216  
 53 慶応三年十二月 綿貫家店卸勘定帳----- 217  
 54 元禄二年 福聚山徳林寺起立----- 244  
 55 天保三年五月 川越横田氏借用証文----- 244  
 56 嘉永七年十月 身代金貸付につき入間川村百姓願書----- 245  
 57 嘉永七年七月 綿貫半平年寄役讓状----- 246  
 58 安政四年四月 檜苗寄進につき札状----- 246  
 59 享保十三年 綿貫清兵衛墓碑銘----- 246  
 60 (年不詳) 綿貫家墓誌年代記----- 247  
 61 文久二年正月 柏原村農間諸商調査書----- 250

第五章 農村の変化

62 文政十年十二月 柏原村質地証文----- 257  
 63 天保八年四月 柏原村質地証文----- 257  
 64 天保十二年三月 柏原村質地証文----- 258  
 65 天保十三年四月 柏原村質地証文----- 258

66	天保十四年十二月	柏原村質地証文	259
67	天保十四年十二月	柏原村質地証文	259
68	弘化三年五月	柏原村質地証文	260
69	弘化三年七月	柏原村質地証文	260
70	弘化五年二月	柏原村質地証文	260
71	嘉永元年七月	柏原村質地証文	261
72	嘉永二年二月	柏原村質地証文	261
73	安政二年六月	柏原村質地証文	262
74	安政四年九月	柏原村質地証文	262
75	安政六年十二月	柏原村質地証文	263
76	天保十五年正月	柏原村増田家大福帳	263
77	文化七年六月	柏原村川欠田畑起返願控帳	268
78	天保五年十二月	田畑荒地年貢につき笹井村への達書	271
79	卯八月	青柳村への荒地見分等の達書	272
80	天保十四年八月	検見についての根岸村百姓請書	274
81	天保五年四月	検見引につき青柳村百姓願書	275
82	天明六年七月	飢饉等につき川越藩達書	275
83	文政四年十二月	種籾料拝借貸付帳	278
84	天保二年十二月	拝借米徳用金割合帳	281
85	文久元年三月	貧民救大麦割渡控	283
86	(年不詳)	御拝借金割合帳	284
87	天保十三年十月	御積穀代金割合帳	285
88	天保四年五月	社倉元金預り証文	286
89	亥十二月	社倉積穀分報告書	287
90	十一月	逃亡人捕縛につき達書	287
91	正徳四年六月	南入曾村百姓跡地につき江戸町人請書	288
第六章 領主策の動向			
第一節 領主財政・仕法			
92	嘉永五年六月	年貢につき達書	292
93	嘉永七年三月	年貢につき達書	292
94	安政二年正月	年貢につき達書	292
95	安政三年八月	年貢につき達書	293
96	安政三年十一月	年貢につき達書	294
97	安政五年正月	年貢につき達書	294
98	安政五年十一月	年貢につき達書	295
99	安政五年十一月	年貢につき達書	295
100	安政六年正月	年貢につき達書	295
101	安政六年二月	年貢につき達書	296
102	安政七年正月	年貢につき達書	296
103	万延元年六月	年貢につき達書	297
104	万延元年十一月	年貢につき達書	297
105	万延元年十一月	年貢につき達書	298
106	元治元年三月	年貢につき達書	298
107	元治元年十一月	年貢につき達書	299
108	慶応二年十月	年貢につき達書	299
109	慶応二年十月	年貢につき達書	299
110	子正月	年貢につき達書	300
111	戌十一月	年貢につき達書	300
112	寅十一月	年貢につき達書	301
113	(年不詳)	年貢につき達書	301
114	亥十月	年貢につき達書	302
115	二月	年貢につき達書	302
116	未正月	年貢につき達書	303
117	文化十年十二月	先納金のため笹井村借用一札	303
118	万延元年十月	先納金免除につき笹井村一札	304
119	慶応四年六月	領主軍役につき青柳村百姓取極	305
第二節 領主触書			
120	明和七年九月	耕作等につき領主触書	307
121	安永五年正月	生活取締りにつき領主触書	309
122	文化三年～文政三年	農業出精等につき領主触書	311
123	文化八年	川越藩御条目	315
124	文政二年	御法度并規定連印帳	321
125	文政三年	川越藩御触・柏原村村掟	323
126	文政六年正月	公儀御触書	325
127	文政六年	休日三味線使用につき柏原村百姓詫状	332
128	天保六年八月	博奕につき柏原村百姓詫状	333
129	天保七年十月	博奕開帳につき柏原村百姓詫状	334
130	天保十二年閏正月	身分不相応の家作につき柏原村小前の詫状	335
131	天保十三年四月	年貢完納につき恩賞の御沙汰書	336
132	天保十三年五月	質素儉約等につき領主触書	339
第七章 社会体制の変動			
第一節 百姓一揆			
133	明和元年	民家騒動日記	345
134	明和元年	武上騒動記	362

135	明和元年	中山道増助郷一件	-----	367
136	明和二年	酉年百姓騒動一件	-----	404
第二節 村方出入				420
137	明和六年十二月	落鶴一件につき柏原村百姓訴状	-----	420
138	文化十一年四月	無届け寄合につき柏原村百姓願書	-----	420
139	文化十一年五月	無届け寄合につき柏原村百姓詫状	-----	421
140	文化十一年五月	無届け寄合の吟味につき柏原村百姓願書	-----	422
141	文化十二年六月	無届け寄合主謀者入牢につき柏原村百姓請書	-----	423
142	文化十一年十月	不身持一件につき柏原村百姓訴状	-----	423
143	文政九年四月	百姓手疵一件につき柏原村百姓済口証文	-----	425
144	文政三年九月	娘誘い出し一件につき柏原村百姓一札	-----	427
145	文政四年四月	榛名山日待講酒狂出入一件につき柏原村百姓詫状	-----	428
146	文政十三年二月	百姓打擲一件につき柏原村百姓済口証文	-----	429
147	文政十三年二月	百姓打擲一件につき柏原村百姓詫状	-----	431
148	天保四年六月	博奕一件につき柏原村百姓詫状	-----	432
149	文化七年正月	不法出入一件につき柏原新田百姓済口証文	-----	433
150	天保五年十二月	不法出入一件につき柏原村百姓訴状	-----	434
151	天保五年十二月	年貢一件につき柏原村百姓詫状	-----	435
152	天保六年閏七月	村方取締りにつき笹井村百姓請状	-----	436
153	天保七年十二月	百姓騒動取締りにつき笹井村百姓請状	-----	437
154	天保十一年正月	娘誘い出し一件につき柏原村百姓等済口証文	-----	438
155	天保十一年四月	浪人取締りにつき柏原村百姓議定書	-----	439
156	天保十四年正月	不身持一件につき柏原村百姓詫状	-----	441
157	弘化二年九月	村境一件につき入間川村百姓等議定書	-----	441
158	嘉永元年五月	農業不精につき柏原村百姓詫状	-----	443
159	嘉永四年八月	百姓疵負一件につき柏原村百姓等願書	-----	444
160	嘉永六年十月	郷蔵預米につき柏原村小前連印帳	-----	446
161	万延元年七月	居屋敷境出入につき柏原村百姓済口証文	-----	449
162	文久元年五月	百姓出入につき青柳村小前一同連印書	-----	451
163	明治三年十一月	強盜横行につき青柳村百姓議定	-----	453
第八章 社会問題の発生				
164	享保十二年～寛保二年	大水記	-----	460
165	文久元年五月	洪水につき入間川への築堤に関する下奥富村願書	-----	480
166	明和七年閏六月	旱魃につき柏原村百姓連印状	-----	481
167	安永二年正月	旱害につき下奥富村への御救金覚	-----	483
168	文政四年七月	旱魃につき柏原村百姓願書	-----	485
169	文政四年九月	旱魃につき柏原村百姓願書	-----	485
170	天保十年七月	旱魃につき南入曾村百姓の年貢に関する願書	-----	486
171	嘉永五年六月	旱魃につき入間川村百姓願書	-----	487
172	宝暦七年～弘化三年	入間川用水不足につき芝地開発反対の下奥富村百姓訴状	-----	487
173	弘化二年	入間川用水不足につき芝地開発反対の上奥富村百姓訴状	-----	494
174	天保七年九月	不作に関する法度につき柏原村百姓連印状	-----	498
175	明和八年三月	火災に関する法度につき柏原村百姓連印状	-----	500
第九章 幕末政治の動向				
176	安政六年	川越江戸町問屋と出入書付	-----	509
177	文久元年十一月	和宮下向につき柏原村他への達書	-----	511
178	文久元年十一月	和宮下向上尾宿への加助郷につき柏原村人足勘定帳	-----	514
179	元治元年八月	川越藩前橋移封につき柏原村百姓請書	-----	522
180	慶応三年十月	川越藩前橋移封につき柏原村人馬賃銭帳	-----	524
181	文久二年十月	人馬勤役につき入間川村百姓願書	-----	529
182	慶応元年八月	人馬勤役につき南畑村他百姓願書	-----	530
183	慶応四年三月	中山道官軍通行人馬役につき入間川村百姓請書	-----	531
184	慶応四年	官軍通行につき青柳村人馬役覚書	-----	531
185	(年不詳)	中山道浦和宿加助郷につき入間川村他百姓願書	-----	532
186	(年不詳)	東海道保土ヶ谷宿への加助郷につき入間川村百姓等の願書	-----	533
187	寅八月	諸役賃銭の請書につき地頭役所より田中村への達書	-----	535
188	文久三年三月	用金につき地頭役所より笹井村への達書	-----	536
189	文久元年五月	外国船に関し達書	-----	537
190	文久三年二月	外国船に関し達書	-----	537
191	元治元年	天狗騒動実録	-----	540
192	卯十二月	浪人横行につき急廻状	-----	540
193	万延二年九月	酒造取締りにつき請書提出の達書	-----	541
194	慶応二年二月	田中村百姓議定連印帳	-----	541
195	安政七年正月	村方取締りに関する達書	-----	544
196	明治二年	村方取締りに関する達書	-----	545
197	嘉永七年十一月	東海道筋地震についての覚書	-----	547
198	安政二年九月	江戸地震につき達書	-----	549
199	辰九月	領主土屋氏の笹井村への土着につき書状	-----	549
第十章 幕末在地の動向				
200	慶応三年十月	農兵歎願委細記	-----	554
201	慶応二年八月	農兵取立てにつき入間川村他願書	-----	597
202	慶応二年十二月	農兵取立てにつき上赤坂村他願書	-----	598
203	慶応二年七月	武州一揆につき書上	-----	601
204	慶応二年六月	武州一揆につき一札	-----	608

205	慶応二年六月	武州打毀しにつき書上	-----	609
206	慶応二年八月	武州打毀しにつき書上	-----	612
207	慶応二年六月	増田家永代記録帳	-----	614
208	慶応二年六月	打毀しにつき対応方議定	-----	626
209	慶応二年六月	福岡新田御用状写帳	-----	627
210	慶応二年六月	武州打毀し一件書上	-----	630
第十一章 寺社				
211	正徳三年	八幡神社縁起	-----	666
212	明治十五年二月	梅宮神社御神酒当番事務式帳	-----	669
213	明治四年八月	八幡神社神事再開につき願書	-----	672
214	安政四年十月	梅宮神社本社拝殿再建帳	-----	673
215	弘化三年正月	永代寺屋根普請覚帳	-----	688
216	明治四年七月	笹井村神社収納高仕訳帳	-----	692
217	嘉永三年十一月	笹井観音堂修堂金永代年賦割済仕方帳	-----	695
218	享和元年八月	永代寺金銭出入帳	-----	699
219	享和元年十二月	田畑小作勘定帳	-----	706
220	弘化元年十二月	永代寺太子堂売木金貸附覚帳	-----	709
221	享和元年十一月	太子堂光明真言料貸附帳	-----	710

史料提供者名簿

狭山市史編さん関係者名簿